

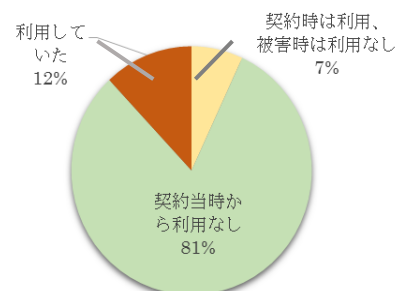


スマホを持っている子どもの保護者の方へ

子どもを守る方法 知っていますか

～スマホの設定、大丈夫？～

H30年SNS被害児童のフィルタリング利用状況



平成30年におけるSNSに起因する被害児童の現状（警察庁）

警察庁の調査によると、子どもの性被害のうち、約9割が被害時にスマホのフィルタリング（裏面参照）を利用していなかったという結果があります。今、子どもにスマホを持たせている方も、これから持たせようとしている方も、子どもが被害に合わないよう、スマホの設定やお家でのルールなどについて、あらためて考えてみませんか。子どもがインターネットを安全に使える年齢になるまでは、保護者が知識を持ち、子どもの補助をしてあげることが大切です。



こんなお悩みありませんか…



保護者が使っていたスマホを子どもに持たせたので、閲覧制限ができていない。



閲覧制限できます！（⇒裏面へ）



寝る時間になっても、子どもがスマホを触ってしまいます。



子どもがスマホを使える時間帯を制限できます！（⇒裏面へ）



お家でのルール、決めていますか

例えば…

- ☐ 終わる時間を決める
(21時以降は電源を切る等。友達にも終わる時間を伝えておくと安心。)
- ☐ スマホを自分の部屋に持ち込まない
- ☐ 写真や名前等をネット上に投稿しない
- ☐ 勉強中はスマホを見ない
- ☐ 不安なことがあったらすぐ大人に相談



こんな被害に合うかも…



Tik Tok(ティックトック)やYouTubeなどで顔出し投稿したら、撮影している場所や制服から自宅が特定され、家の前で見知らぬ人が待ち伏せして、連れ去られそうになった。



投稿しているのが子どもということが分かって、狙ってくる悪い大人がいることを子どもに伝え、個人や自宅が特定されるような投稿はしないように注意しましょう。

※ちなみに、ゲームやアプリにも「〇歳以上」という年齢区分があって、Tik Tokは13歳以上となっています。



オンラインゲームで意気投合し、名前や住所を教えてしまったら、勝手に名前を使われ、嘘の情報をネット上に流された。



ゲームやSNS上で知り合った人に、名前などを教えない。優しく話を聞いてくれたとしても、実は子どもに害を与えたり、誘拐したりするために嘘をついているかもしれないことを伝えましょう。

フィルタリングの方法

「フィルタリング」とは、子どもたちを違法・有害情報との接触から守り、安全にインターネットを利用する手助けをするサービスのことです。どんなサービスを利用するのか、なぜそれが必要なのかを子どもともよく話し合って決めるとよいですね。



どんなことができるの？（利用するサービスの種類によって異なります）



- その１．違法・有害なサイトを閲覧できないように設定できる。
- その２．有料アプリや課金アプリ等を勝手に購入できないように設定できる。
- その３．スマートフォン利用状況や利用時間を確認できる。
- その４．スマートフォンを利用できる時間帯を設定できる。 など

※学齢や利用目的に合わせて設定できるものや、家庭のルールに合わせてカスタマイズできるものもあります。



どうやって設定するの？



スマホを契約購入した携帯電話事業者に相談して、ご希望の設定をしてください。すぐに相談に行けない、最低限の設定だけでもすぐしたい！という方のために、いくつかの方法をご紹介します。

方法１：スマホ本体のフィルタリング機能を利用する

子どものスマホを操作すればすぐに設定できるので、お手軽です！サイトの制限や使用時間の制限を保護者が子どものスマホにかけることができます。インターネットで検索すると方法は調べることができますが、いくつかの機能をご紹介します。

【閲覧サイトの制限】

アイフォン

「設定」→「スクリーンタイム」→「コンテンツとプライバシーの設定」
→「コンテンツとプライバシーの制限」をオンにする→「コンテンツ制限」
→「Web コンテンツ」→ご希望の制限を選択

【使用時間の制限】

アイフォン

「設定」→「スクリーンタイム」→「休止時間」
※子どもが自分で変更できないように、保護者がパスワードをかける場合は、
「スクリーンタイム・パスコードを使用」を設定する。

方法２：フィルタリングアプリを利用する

フィルタリング機能を備えた専用のアプリを利用する方法もあります

アンドロイド

「Google ファミリーリンク」が利用できます。
保護者のスマホはアンドロイドでもアイフォンでも利用できますが、子どものスマホは
アンドロイドのみ利用可。指示に従って進めていってください。

方法３：携帯電話事業者のサービスを利用する

各社からフィルタリングアプリが無料で提供されています。法律により、青少年が利用する携帯端末等を契約購入する場合はフィルタリングを提供することが、事業者には義務付けられています。



NTT ドコモ



KDDI (au)



ソフトバンク



ワイモバイル